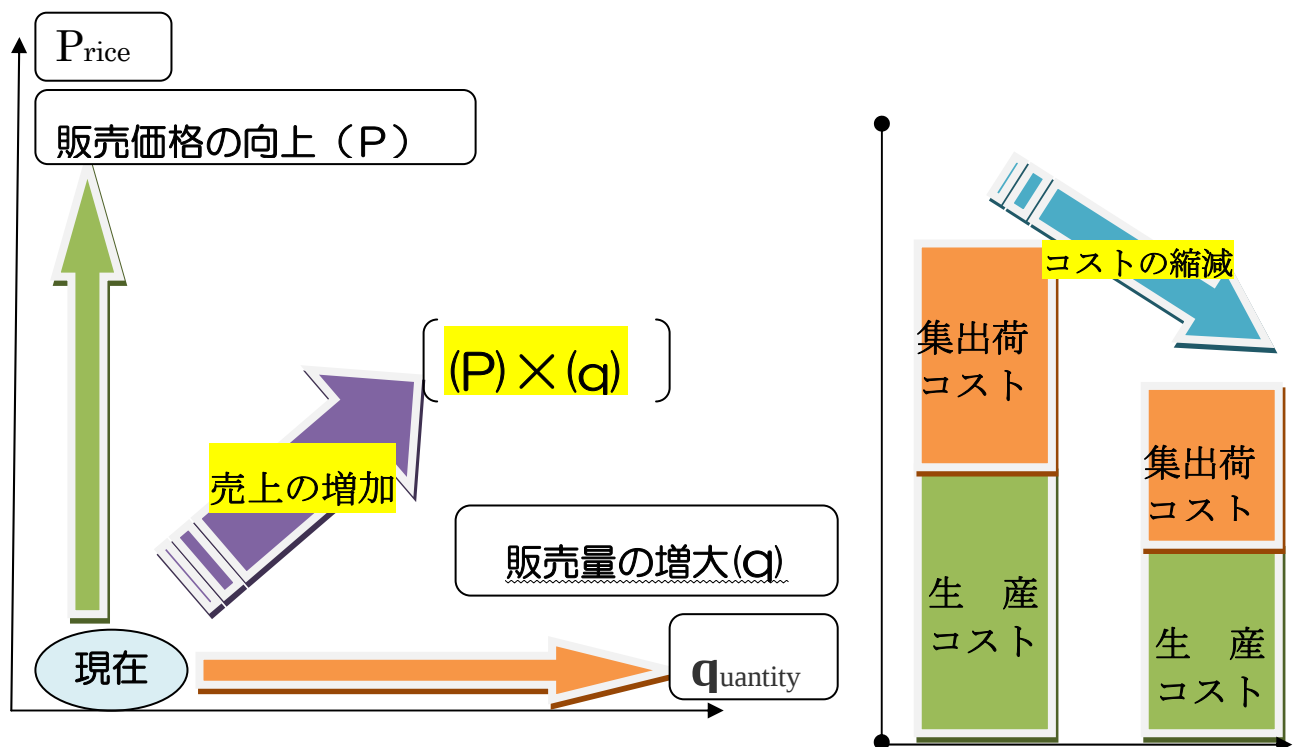


3. 持続可能な経営実現のための農業改革のあり方③

- 農業が産業として持続的に発展していくためには、農業所得の増大を目指していくことが重要。（「儲かる農業」の実現）
- 農畜産物の安定価格維持施策が必要
 - ・ 多様な販売戦略による価格交渉力の強化
 - ・ 農・畜・水産物の新需要開拓と供給
 - ・ 輸出の促進



4. 持続可能な経営実現のための農業改革のあり方④

- 各地域には、高い見識と、技術力を備えた篤農家と呼ばれる方々が存在する農業者(経営体)が存在する。これら農業者等の持つ生産の技術力や、ノウハウを次世代に繋げる施策が必要
- 意欲的な農業者のアイデアや、やる気を育てるための支援策が必要

(参考3)

田原市での取組み事例

地域農業アイデア活用支援事業 【農業新技術導入等支援補助金】の創設

対策のポイント

農業の現場に存在する地域農業の課題や問題点を、農業者自らの創意工夫・改善・新技術導入等の取組みによって解消し、地域農業の活性化を図るため、地域農業者等のアイデアを地域農業に活用するための支援をおこない、地域農業の取組みの多様性を促進する。

- ・ 田原市の農業経営形態は、多岐（水稻、露地野菜、施設園芸、畜産等）にわたっている、このように多くの経営体に存在する課題も多種多様であり、その改善に向けての取組み手法は、各経営体の課題内容により異なることから、農業実情に精通した地域農業者等のアイデアが施策に反映されることが必要。
- ・ 地域農業者等から提案された施策・事業アイデアを審査し、対象事業を精査・選択することによって地域実情にあった施策展開を図り、地域農業の活性化に寄与する。

政策の目標

- ・ 本事業を通して、農業の生産現場に地域農業者等の創意工夫により新技術等への取組みを促進する。

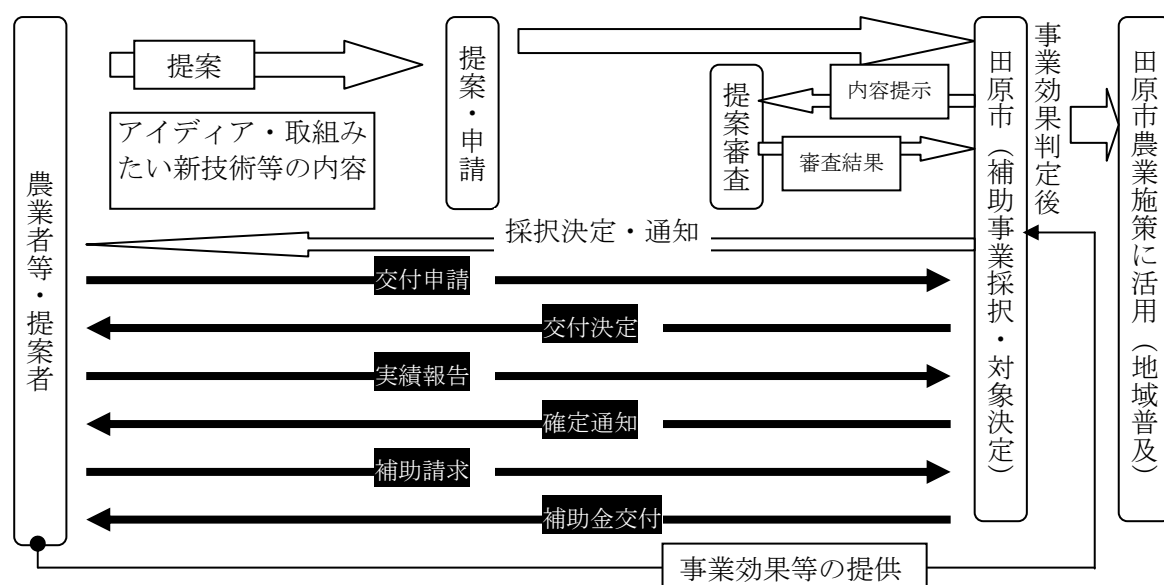
《内容》

田原市内に住所を有し、農業生産に携る農業者等（営農組織、農業団体、農業生産法人含む）の3名以上で組織する団体で提案する、農業新技術の導入や農業生産等に寄与する改善施策の取組みに対し、提案された施策・取組み内容を審査し、地域農業の振興に寄与するとされた提案に対し、その実施のために必要となる事業費の一部を助成する。

【補助率等】

提案事業に係る経費の1／2以内（但し、1,000千円を限度）

※平成22年度の予算は3,000千円



【H21 年度の実績】

◎3戸のキャベツ農家が地域農業アイデア活用支援事業に参画し、うね内部分施用装置を導入した。JA愛知みなみ常春部会が持続性の高い生産方式の一環として導入を推進しているL型緩行性肥料を使用し、うね内部分施用を行うことによる基肥施用量30%削減の実証を行った。

※その結果、基肥使用量が30%削減されて10a当たり約5,000円のコストダウンとなり、基肥散布とうね立てを同時に行うことで10a当たり2～3時間の労働時間削減となることが分かった。同事業の成果は、他の部会員にも周知されている。

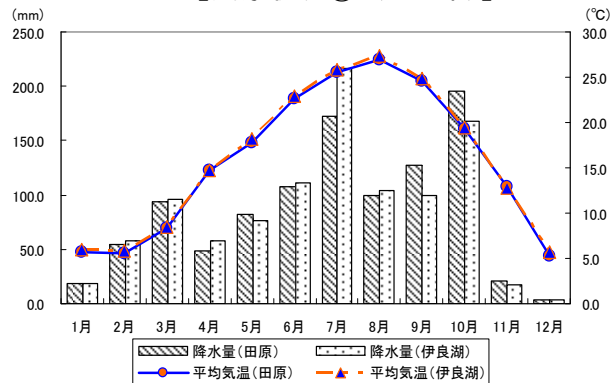


1. 田原市の概要

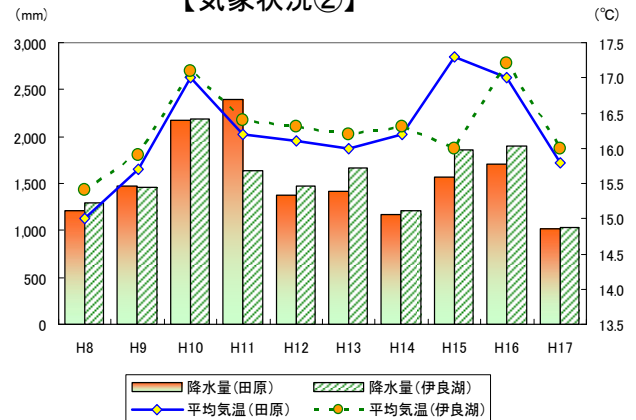
参考資料: 農業関係 DATA

(1) 気象状況 (資料: 気象庁名古屋地方気象台、田原市消防本部)

【気象状況① (H17 年)】

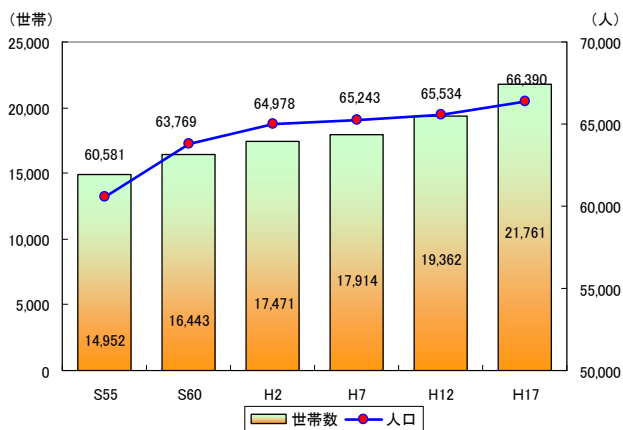


【気象状況②】

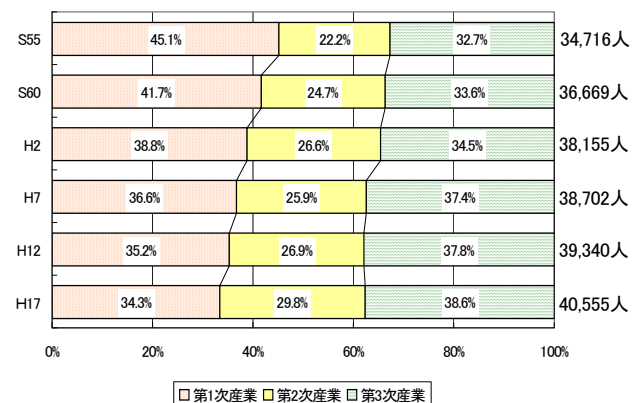


(2) 人口・世帯・産業別就業者数の推移 (資料: 国勢調査)

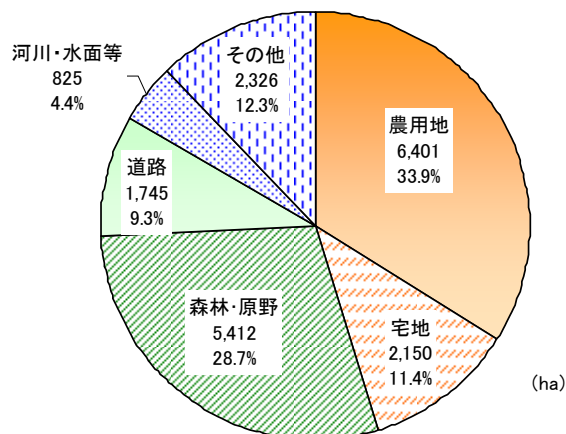
【人口・世帯】



【産業別就業者】



(3) 土地利用の状況 (資料: H17 愛知県土地に関する統計年報)



項目	行政面積	農用地	宅地	森林・原野	道路	河川・水面等	その他
田原市計	18,858	6,401	2,150	5,412	1,745	825	2,326
割合	100.0%	33.9%	11.4%	28.7%	9.3%	4.4%	12.3%

田原市の農業概観

昭和43年の豊川用水全面通水以来、全国有数の農業地域として、きくなどの花き、キャベツ、ブロッコリーなどの野菜類を中心に、収益性の高い農産物生産体制を確立し、飛躍的な発展を遂げてきた。土地利用においても、市域の3分の1は農地が占めている。乳用牛・肉用牛、豚などの畜産業も花き、野菜類と同様に盛んな地域で、県下トップクラスに位置している。

農家1戸あたりの生産農業所得は高く、第1次産業就業者の占める割合は33.3%（H17国勢調査）と、全国の市の中で1位となっている。

総農家数は、年々減少しているものの、農家に占める専業農家や第1種兼業農家の割合は高く、平成17年現在で70%を越えている。農家の担い手として大きな役割を果たす認定農業者は1,033人（平成20年1月末現在）となっており、全国的に農業離れが進む中、各種の農業支援等によりその人数は増加傾向にある。

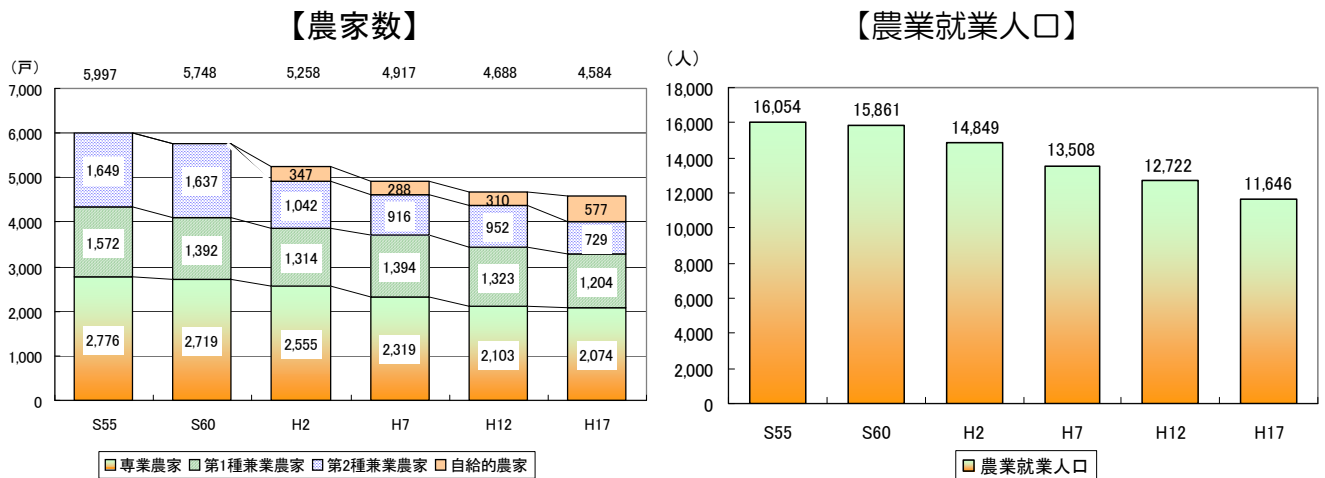
一方、遊休農地の増加や家畜排せつ物の大量発生などが課題であり、遊休農地は現在では農地面積の約10%を占めている。また、ハウス栽培の加温用燃料である石油の価格高騰の影響を受けて経営が悪化しており、農業のエネルギー自給率の確保やコスト低減に向けた安定的なエネルギーの確保が課題となっている。

農業産出額及び生産農業所得

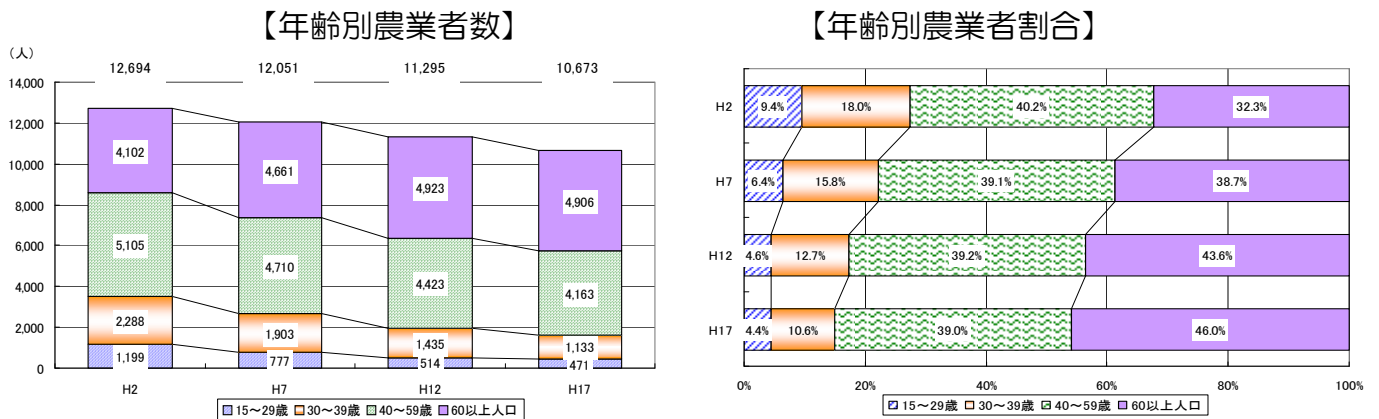
農業産出額		産出額(千万円)	構成比(%)
		7,244	100
耕種計		5,566	77
米		114	2
麦類		0	0
雑穀・豆類		0	0
いも類		6	0
野菜類		1,827	25
果実		58	1
花き		3,541	49
工芸作物		18	0
種苗・苗木その他		1	0
畜産計		1,672	23
肉用牛		268	4
乳用牛		377	5
豚		718	10
鶏		275	4
その他畜産物		34	0
		6	0

2. 田原農業の状況（農家・農地）

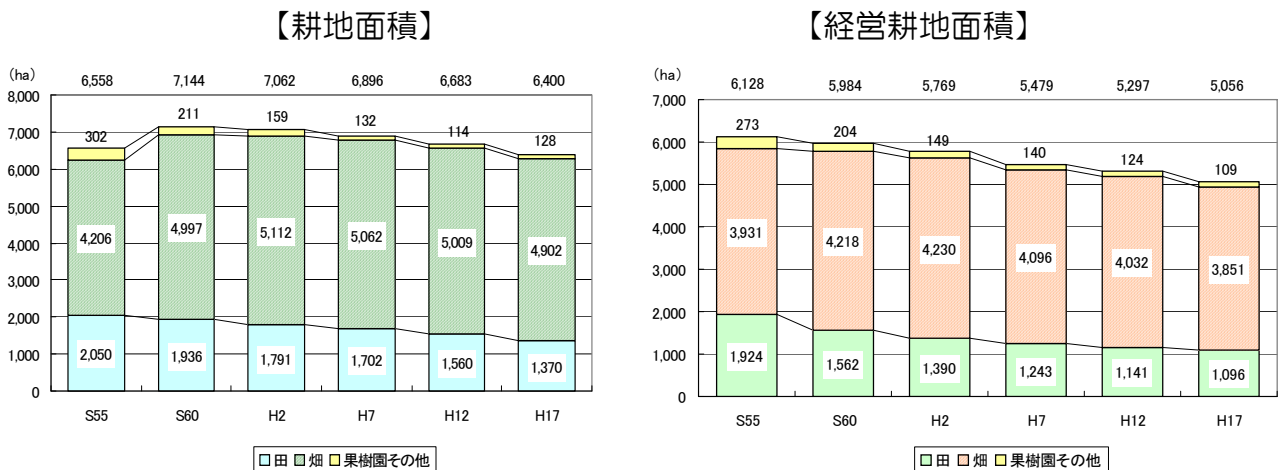
（１）農家数・農業就業人口の推移（資料：農林業センサス）



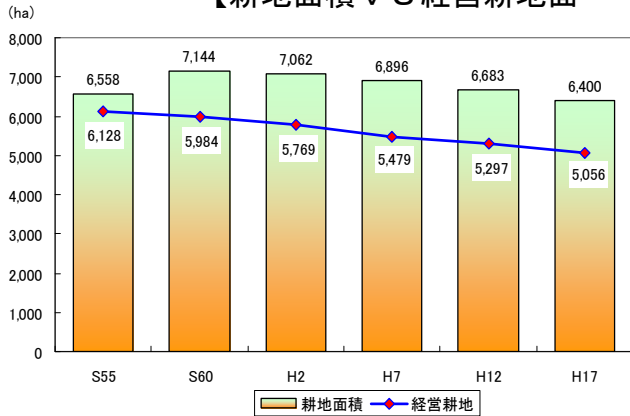
（２）年齢別農業者数の推移（資料：農林業センサス）



（３）農地の状況（資料：農林業センサス、愛知農林水産統計年報）



【耕地面積 V S 経営耕地面】

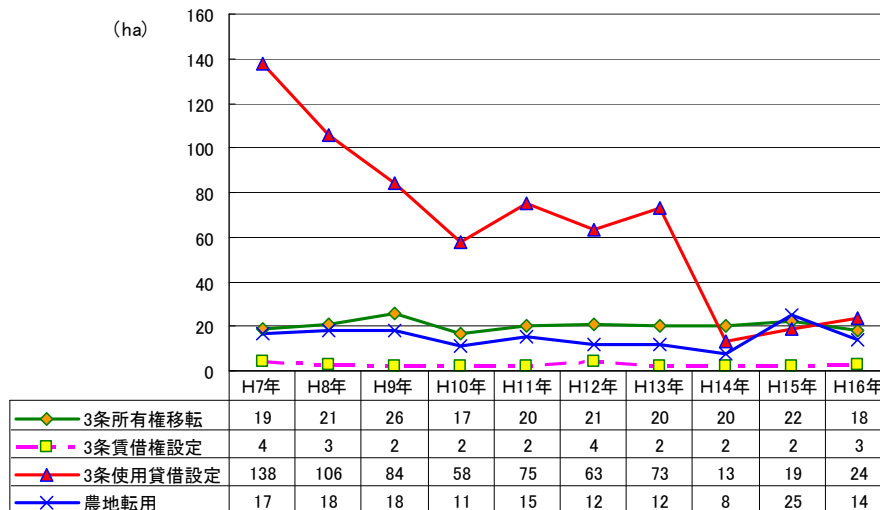


【耕地面積 V S 遊休農地】

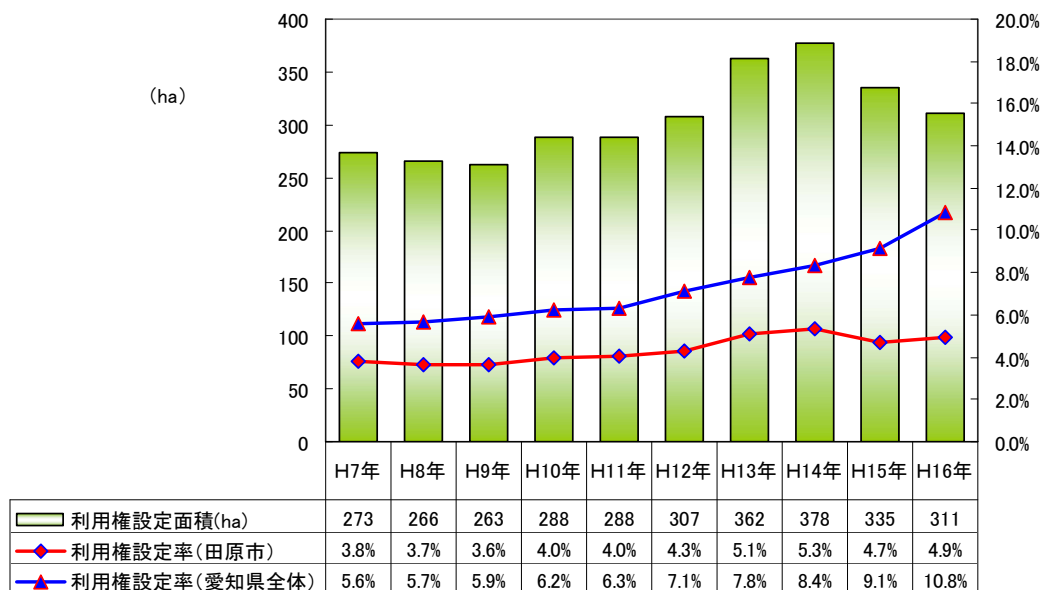


(4) 農地の転用・権利移転等の状況 (資料：愛知県農地年報)

【農地法による権利移動の状況】



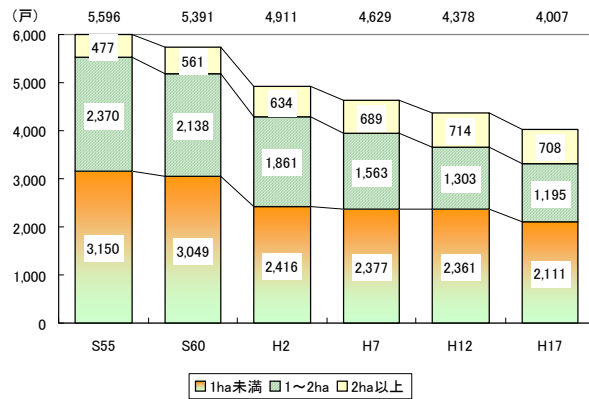
【農業経営基盤強化促進法による利用権設定面積】



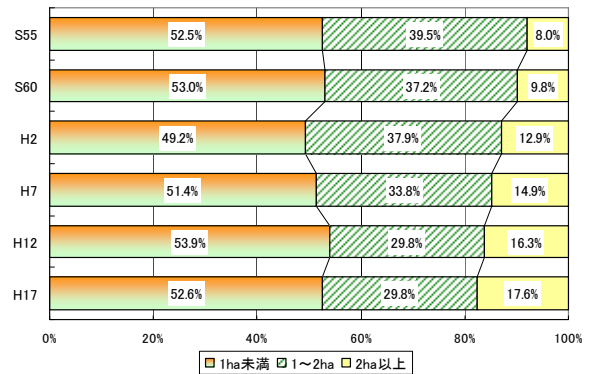
3. 田原農業の状況（農業経営）

（1）経営規模別農家数の推移（資料：農林業センサス）

【経営規模別農家数】

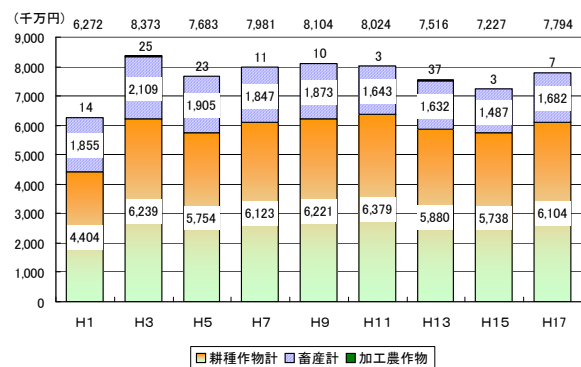


【経営規模別農家割合】

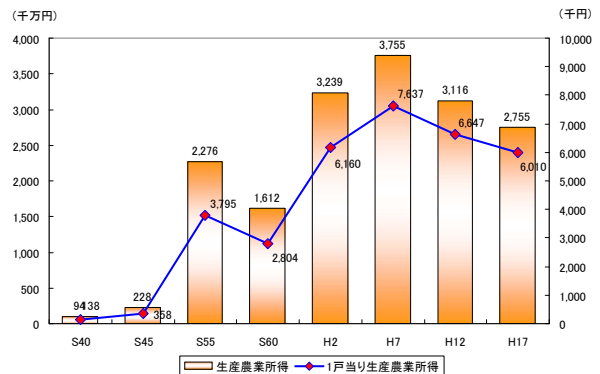


（2）農業産出額・生産農業所得額の推移（資料：愛知農林水産統計年報）

【農業産出額】



【生産農業所得・農家1戸当り生産農業所得】



生産農業所得	3,119	(千円)
農家1戸当たり生産農業所得	6,833	(千円)
耕地 10a 当たり生産農業所得	488	(千円)
農業専従者換算1人当たり生産農業所得	2,872	(千円)

(資料:第54次愛知県農林水産年報)

全国第1位を誇る農業関連の指標

農業産出額	724億4 千円
生産農業所得	311億9 千円
花き産出額	354億1 千円

(3) 部門別農業産出額の県内比較 (資料: 第52次愛知農林水産統計年報)

	生産農業所得		農業産出額		米		麦		雑穀・豆類		いも類		野菜		果実	
	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)
第1位	田原市	2,755	田原市	7,599	豊田市	315	安城市	41	安城市	36	豊橋市	16	豊橋市	2,743	蒲郡市	478
第2位	豊橋市	1,809	豊橋市	5,135	豊橋市	244	豊田市	31	西尾市	21	豊田市	14	田原市	2,354	豊橋市	198
第3位	豊川市	609	豊川市	1,605	安城市	231	西尾市	27	岡崎市	18	岡崎市	12	豊川市	885	豊田市	123
第4位	西尾市	454	西尾市	1,154	愛西市	174	岡崎市	18	豊田市	10	碧南市	11	愛西市	570	美浜町	107
第5位	安城市	404	豊田市	1,120	岡崎市	173	刈谷市	9	吉良町	8	安城市	10	碧南市	333	安城市	102
					10位田原市	121	田原市	0	田原市	0	12位田原市	6			第10位田原市	66
愛知県計		11,338		32,658		3,547		181		140		217		10,881		1,977
占有率		24.3%		23.3%		3.4%		-		-		2.8%		21.6%		3.3%

	花き		工芸農作物		苗木・その他		肉用牛		乳用牛		豚		鶏		その他畜産物	
	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)	市町村名	額(千円)
第1位	田原市	3,420	西尾市	91	稲沢市	304	田原市	252	田原市	401	田原市	677	豊橋市	368	豊橋市	200
第2位	西尾市	458	豊橋市	77	安城市	60	豊橋市	134	豊橋市	338	豊橋市	407	田原市	246	田原市	29
第3位	豊橋市	365	吉良町	37	豊橋市	38	半田市	133	半田市	326	吉良町	83	新城市	180	常滑市	24
第4位	豊川市	352	新城市	23	西尾市	37	美浜町	39	西尾市	84	美浜町	78	常滑市	170	知多市	4
第5位	稲沢市	245	田原市	22	碧南市	36	新城市	32	豊田市	78	豊川市	75	岡崎市	149	名古屋市	3
					25位田原市	2										
愛知県計		7,168		289		658		881		2,154		1,976		2,235		303
占有率		47.7%		7.6%		0.3%		28.6%		18.6%		34.3%		11.0%		9.6%

作物別産出額 (日本一の作物)

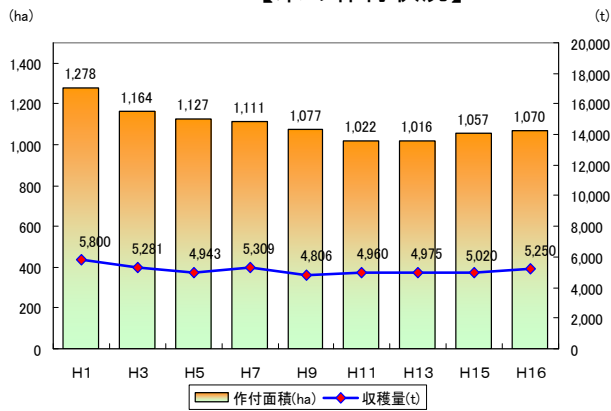
きく	228 億1,000 万円
観葉植物 (鉢)	23 億8,000 万円
ばら	9 億7,000 万円
アルストロメリア	5 億8,000 万円
キャベツ	94 億6,000 万円
ブロッコリー	17 億7,000 万円

出典) 平成17 年生産農業所得統計(平成19 年、農林水産省)

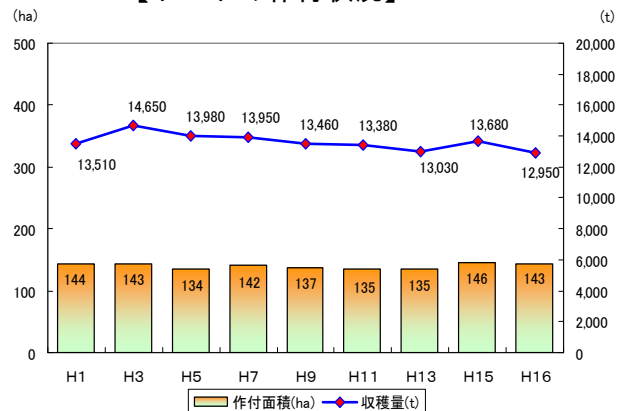
4. 田原農業の状況（主要作物）

（１）水稻・野菜・果実等の作付状況（資料：第52 愛知農林水産統計年報）

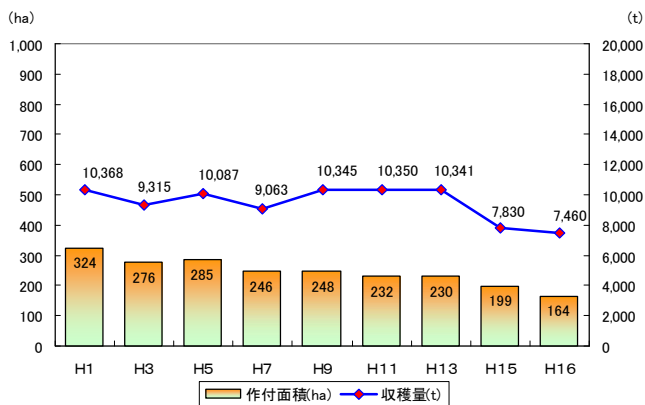
【米の作付状況】



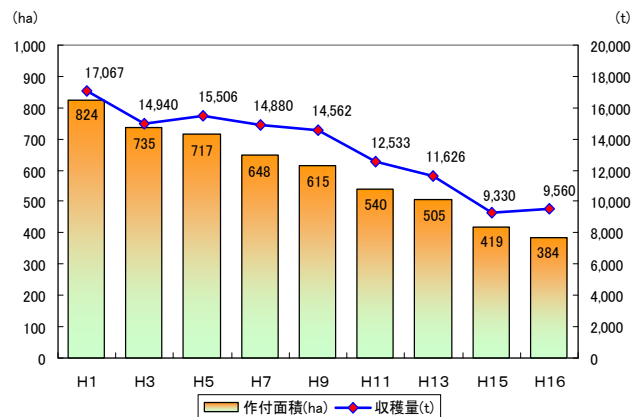
【トマトの作付状況】



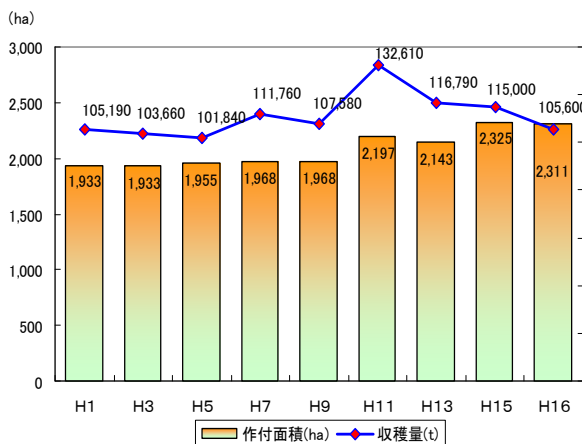
【すいかの作付状況】



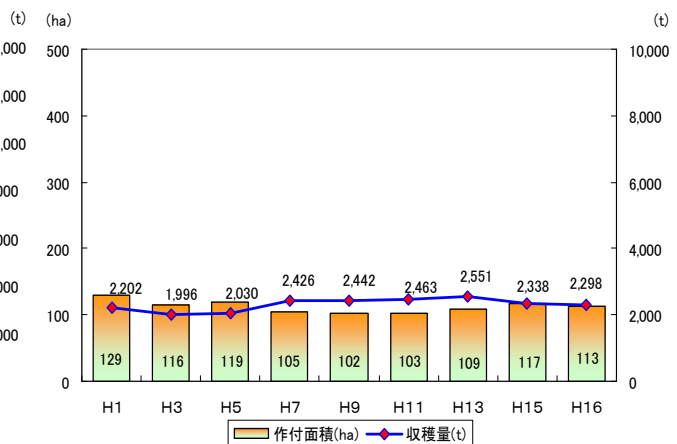
【メロンの作付状況】



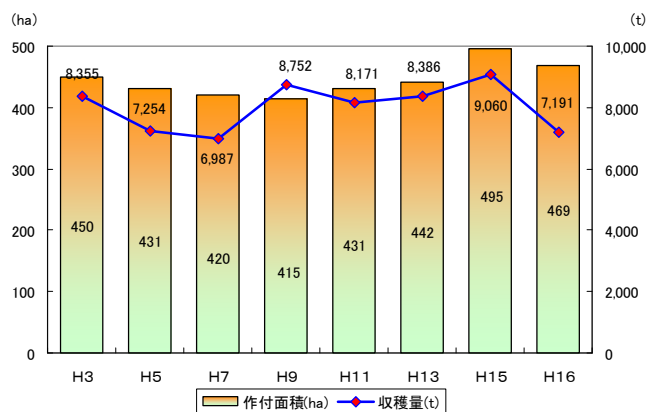
【キャベツ作付状況】



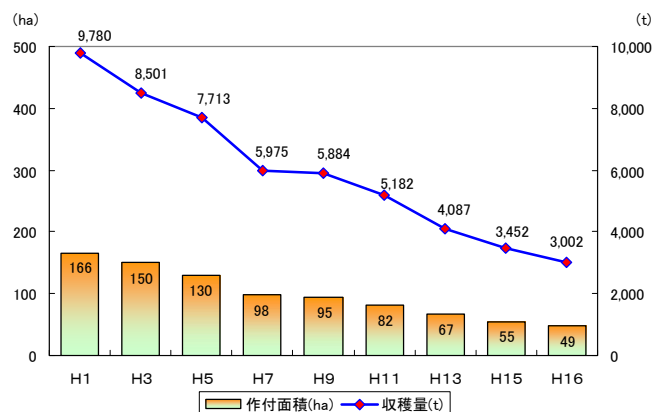
【レタスの作付状況】



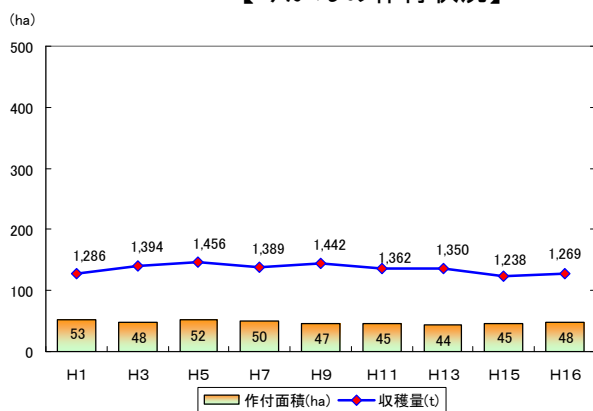
【ブロッコリーの作付状況】



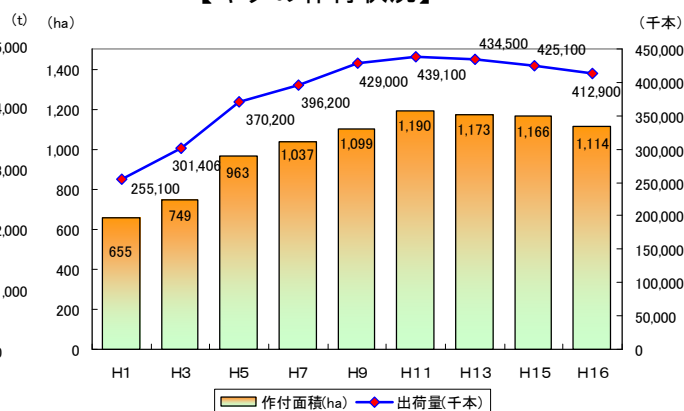
【だいこんの作付状況】



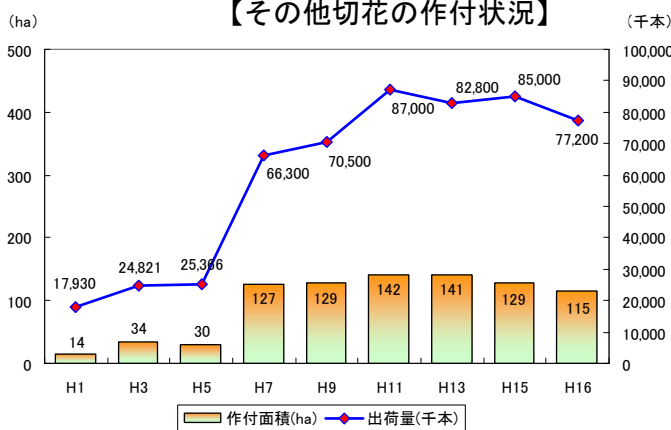
【みかんの作付状況】



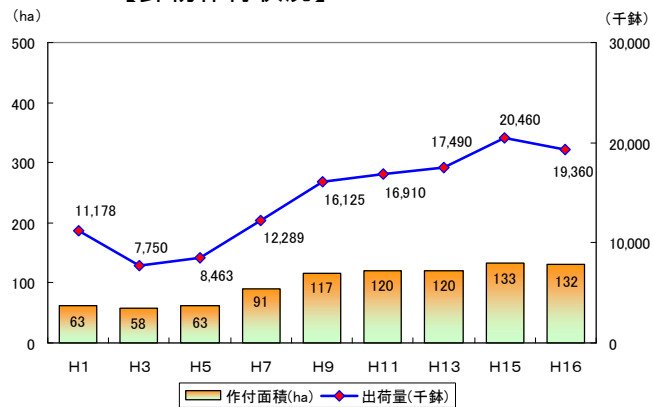
【キクの作付状況】



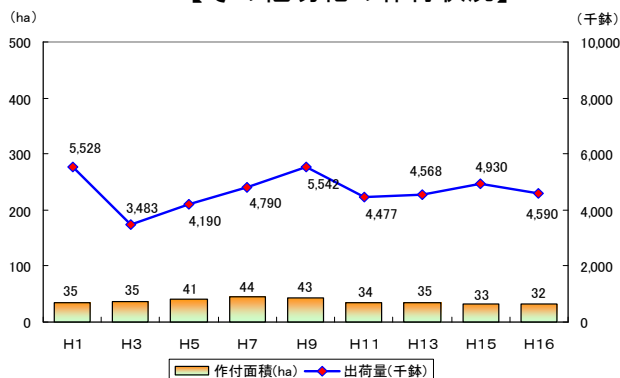
【その他切花の作付状況】



【鉢物作付状況】

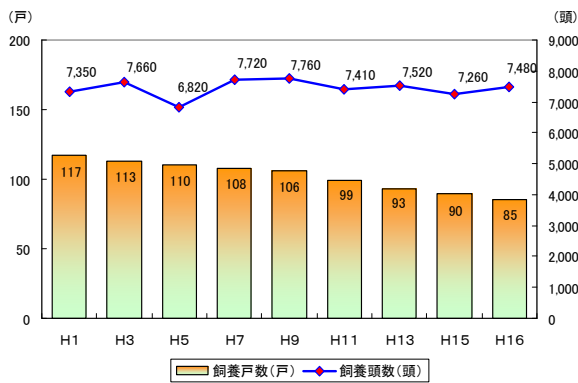


【その他切花の作付状況】

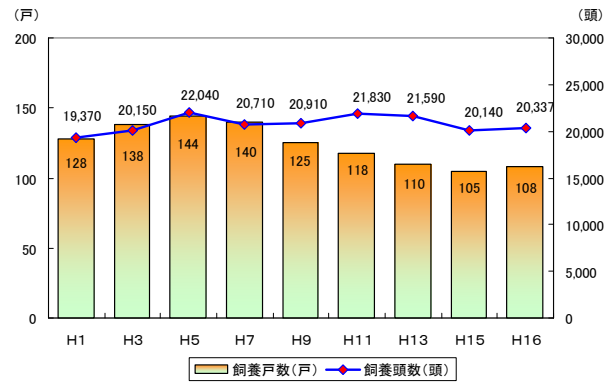


(2) 畜産の状況 (資料: 第52 愛知農林水産統計年報)

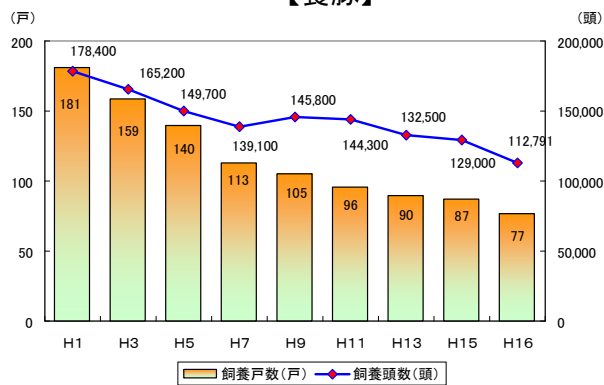
【乳用牛】



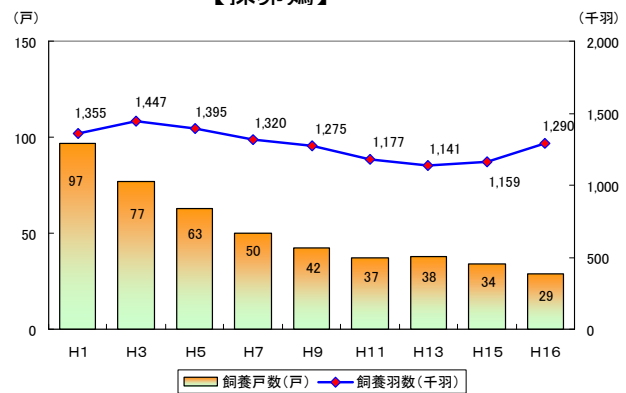
【肉用牛】



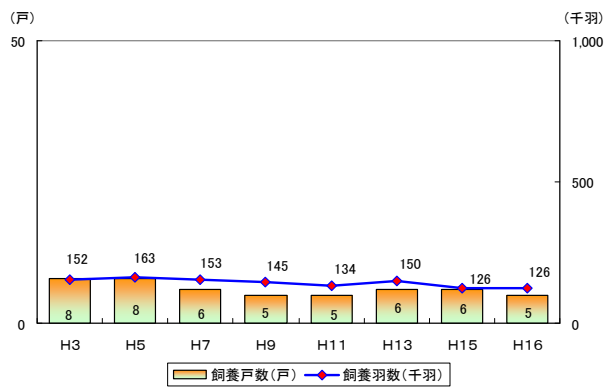
【養豚】



【採卵鶏】



【ブロイラー】



【養鶏計】

